DENON

AVサラウンドアンプ

AVC-A11XV

取扱説明書【アップグレード版】

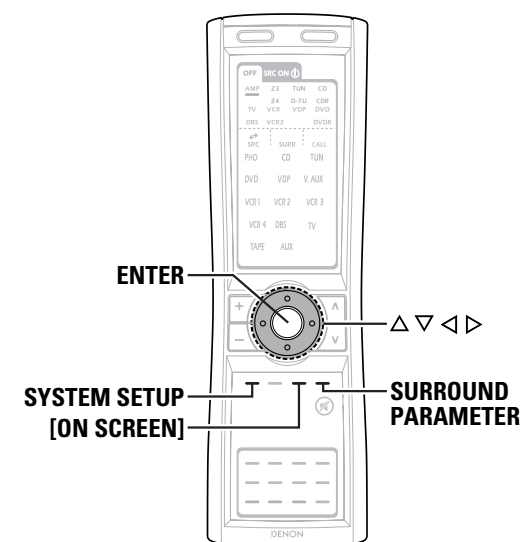
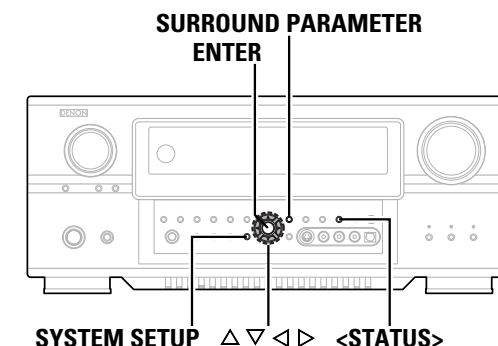
安全にお使いいただくために―必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

本取扱説明書は、アップグレード実施後の追加機能に関する説明をしています。
本機の操作にあたっては、製品に付属の取扱説明書もあわせてご参照ください。

総目次

システムセットアップ

アップグレードをおこなうことにより、システムセットアップメニューの一部が変更になります。

【操作説明のボタン名について】
<　　>：本体のボタン
[　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

ビデオコンバートモードの設定

ビデオコンバージョン機能を使用するかどうかを設定します。

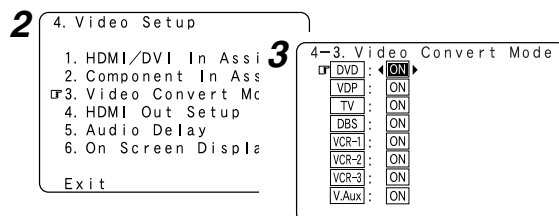
1 **△ ▽ で“ System Setup Menu ”から“ Video Setup ”を選び、ENTER を押す。**

2 **△ ▽ で“ Video Convert Mode ”を選び、ENTER を押す。**

3 **△ ▽ で入力ファンクションを選び、◁ ▷ で“ ON ”または“ OFF ”を選ぶ。**

ON：
複数の入力信号がある場合に、入力信号を検出して“ コンポーネント ”、“ Sビデオ ”、“ ビデオ ”の中から自動的にモニターアウト出力端子に出力する入力信号を選びます。

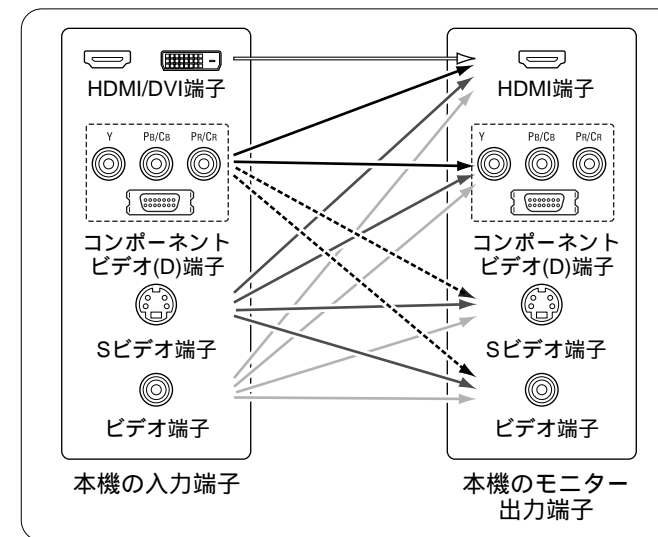
OFF：
ビデオコンバージョン機能は動作しません。
ビデオ入力信号は、ビデオモニターアウト端子にのみ出力します。
Sビデオ入力信号は、Sビデオモニターアウト端子にのみ出力します。
コンポーネントビデオ入力信号は、コンポーネントビデオモニターアウト端子にのみ出力します。

4 **ENTER を押す。**

- 入力されたコンポーネントビデオ信号の解像度が480i/576i以外のときは、コンポーネントビデオ信号からSビデオおよびビデオ信号へのダウンコンバートはできません。
  コンポーネントビデオモニター出力端子を使用しない場合は、Sビデオまたはビデオ入力端子で再生機器と接続してください。
- ゲーム機などの非標準ビデオ信号を入力した場合、ビデオコンバージョン機能が動作しない場合があります。このようなときは、コンバートモードを“ OFF ”にしてください。
- ビデオコンバージョン機能を使用した場合、映像信号に付加される文字放送などの情報が出力されない場合があります。このようなときは、コンバートモードを“ OFF ”にしてください。

《システムセットアップ》

ビデオコンバージョン機能について

- 本機のモニター出力には映像信号のコンバージョン機能を装備しています。
  このため、再生機器と本機の映像入力端子との接続方法に関わらず、本機のモニター出力端子とテレビ間の接続方法については、より高品位な接続方法のケーブルを1本接続するだけで視聴できます。
- アナログ映像信号の接続方法については、一般的に
  ① コンポーネントビデオ（D）端子
  ② Sビデオ端子
  ③ ビデオ端子
  の順で高品位な再生をおこなうことができます。

本機内部での映像信号の流れ

----：480i/576iのとき

- HDMI/DVI信号からコンポーネントビデオ信号、Sビデオ信号、ビデオ信号へのダウンコンバートはできません。HDMIモニター出力端子を使用しない場合は、コンポーネントビデオ、Sビデオ、ビデオ入力端子で再生機器と接続してください。
- コンポーネントビデオ端子に入力された信号の解像度が480i/576iのときは、モニター出力端子にダウンコンバートします。

❑ アナログビデオ信号からHDMIへのアップコンバージョン機能について

- 本機のアップコンバージョン機能は、入力されたアナログビデオ信号（コンポーネント-480i/576i、480p/576p、1080i、720p；Sビデオおよびビデオ-480i/576i）をHDMIモニター出力端子に出力できます。
- 本機は、HDMIモニター出力端子に出力する解像度を選択できます（☞ 5、6ページ）。テレビが対応している解像度は、<**STATUS**> または［**ON SCREEN**］で確認できます。

- アナログビデオ信号からHDMIへのアップコンバージョン機能を使用しない場合は、「HDMIコンバート出力の設定」（☞ 5、6ページ）で " OFF " を選んでください。この場合は、コンポーネントビデオ端子までのアップコンバージョン機能が動作します。

映像入力信号とモニター出力との関係

ビデオコンバート	入力信号				モニター出力			
	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
ON	×	×	×	×	×	×	×	×
	×	×	×	○	VIDEO	VIDEO	VIDEO	VIDEO
	×	×	○	×	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	×	○	○	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (1080p)	×	×	×	COMPONENT	×	×
	×	○ (480p ~ 720p)	×	×	COMPONENT	COMPONENT	×	×
	×	○ (480i/576i)	×	×	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
	×	○ (1080p)	×	○	VIDEO	COMPONENT ✳1	VIDEO	VIDEO
	×	○ (480p ~ 720p)	×	○	COMPONENT ✳1	COMPONENT ✳1	VIDEO ✳3	VIDEO
	×	○ (480i/576i)	×	○	COMPONENT ✳1	COMPONENT ✳1	COMPONENT ✳1	VIDEO
	×	○ (1080p)	○	×	S-VIDEO	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (480p ~ 720p)	○	×	COMPONENT ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳3
	×	○ (480i/576i)	○	×	COMPONENT ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳4
	×	○ (1080p)	○	○	S-VIDEO	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (480p ~ 720p)	○	○	COMPONENT ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳5
	×	○ (480i/576i)	○	○	COMPONENT ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳5
	○	×	×	×	HDMI	×	×	×
	○	×	×	○	HDMI	VIDEO ✳2	VIDEO	VIDEO
	○	×	○	×	HDMI	S-VIDEO ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	×	○	○	HDMI	S-VIDEO ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	○ (1080p)	×	×	HDMI	COMPONENT	×	×
	○	○ (480p ~ 720p)	×	×	HDMI	COMPONENT	×	×
	○	○ (480i/576i)	×	×	HDMI	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
	○	○ (1080p)	×	○	HDMI ✳1	COMPONENT ✳1	VIDEO	VIDEO
	○	○ (480p ~ 720p)	×	○	HDMI ✳1	COMPONENT ✳1	VIDEO ✳3	VIDEO
	○	○ (480i/576i)	×	○	HDMI ✳1	COMPONENT ✳1	COMPONENT ✳1	VIDEO
	○	○ (1080p)	○	×	HDMI ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	○ (480p ~ 720p)	○	×	HDMI ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳3
	○	○ (480i/576i)	○	×	HDMI ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳4
	○	○ (1080p)	○	○	HDMI ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	○ (480p ~ 720p)	○	○	HDMI ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳5
	○	○ (480i/576i)	○	○	HDMI ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	S-VIDEO ✳5

○：信号あり
×：信号なし
480p ~ 720p：480p/576p/1080i/720p

× ： モニター出力しない。
✳1 ： オンスクリーンディスプレイは、ビデオ信号にスーパーインポーズして出力する。
✳2 ： オンスクリーンディスプレイはSビデオ信号にスーパーインポーズして出力する。
✳3 ： " Analog to HDMI Convert " が " ON " の場合は出力しない。
✳4 ： " Analog to HDMI Convert " が " ON " の場合は、コンポーネントビデオ入力信号をコンバートして出力する。
✳5 ： " Analog to HDMI " が " ON " の場合は、ビデオ入力信号を出力する。
■（濃）： **SYSTEM SETUP**、**SURROUND PARAMETER** および **[ON SCREEN]** 操作時のみオンスクリーンディスプレイを表示する。
■（中）： " Analog to HDMI Convert " が " OFF " の場合、HDMI入力以外の信号は出力しない。
■（淡）： 上記 " ■ " と " ■ " の内容を含む。

- 入力信号がコンポーネントビデオの1080pのときは、HDMIモニター出力端子に出力することができません。

《システムセットアップ》

ビデオコンバート	S-VIDEOモニター出力	入力信号				モニター出力			
		HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
OFF	–	×	×	×	×	× ✳1	× ✳1	× ✳1	×
	–	×	×	×	○	× ✳1	× ✳1	× ✳1	VIDEO
	–	×	×	○	×	× ✳2	× ✳2	S-VIDEO	× ✳2
	使用	×	×	○	○	× ✳2	× ✳2	S-VIDEO	VIDEO ✳2
	未使用	×	×	○	○	× ✳1	× ✳1	S-VIDEO ✳1	VIDEO
	–	×	○	×	×	× ✳1	COMPONENT ✳1	× ✳1	×
	–	×	○	×	○	× ✳1	COMPONENT ✳1	× ✳1	VIDEO
	–	×	○	○	×	× ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	× ✳2
	使用	×	○	○	○	× ✳2	COMPONENT ✳2	S-VIDEO	VIDEO ✳2
	未使用	×	○	○	○	× ✳1	COMPONENT ✳1	S-VIDEO ✳1	VIDEO
	–	○	×	×	×	HDMI ✳1	× ✳1	× ✳1	×
	–	○	×	×	○	HDMI ✳1	× ✳1	× ✳1	VIDEO
	–	○	×	○	×	HDMI ✳2	× ✳2	S-VIDEO	× ✳2
	使用	○	×	○	○	HDMI ✳2	× ✳2	S-VIDEO	VIDEO ✳2
	未使用	○	×	○	○	HDMI ✳1	× ✳1	S-VIDEO ✳1	VIDEO
	–	○	○	×	×	HDMI ✳1	COMPONENT	× ✳1	×
	–	○	○	×	○	HDMI ✳1	COMPONENT	× ✳1	VIDEO
	–	○	○	○	×	HDMI ✳2	COMPONENT	S-VIDEO	× ✳2
	使用	○	○	○	○	HDMI ✳2	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO ✳2
	未使用	○	○	○	○	HDMI ✳1	COMPONENT	S-VIDEO ✳1	VIDEO

○：信号あり
×：信号なし

× ： モニター出力しない。
✳1 ： オンスクリーンディスプレイ表示は、ビデオ信号にスーパーインポーズして出力する。
✳2 ： オンスクリーンディスプレイ表示は、Sビデオ信号にスーパーインポーズして出力する。
■ ： **SYSTEM SETUP**、**SURROUND PARAMETER** および **[ON SCREEN]** 操作時のみオンスクリーンディスプレイを表示する。

●“ Analog to HDMI Convert ” が “ OFF ” の場合、HDMIモニターアウト端子にはHDMI入力以外の信号を出力しません。

HDMIコンバート出力の設定

- アナログビデオ信号からHDMIへのアップコンバージョン機能を使用するかどうかを設定します。
- このコンバージョン機能を使用する場合のHDMI端子から出力される信号のカラー形式および映像レンジを設定します。

1 △ ▽ で “ System Setup Menu ” から “ Video Setup ” を選び、ENTER を押す。

2 △ ▽ で “ HDMI/Component Out ” を選び、ENTER を押す。

3 △ ▽ で項目を選び、◁ ▷ で設定する。

Analog to HDMI Convert：

- **ON：**
  入力されているアナログビデオ信号をHDMIにアップコンバートします。
- **OFF：**
  アップコンバートをおこないません。

Aspect：

- **FULL**
  ビデオ入力のアスペクト比を維持したまま映像を出力します。このモードは16：9の映像を再生する場合に適しています。
- **NORMAL**
  映像入力の左右に黒帯を追加して出力します。このモードは4：3の映像を再生する場合に適しています。

Resolution：

- **480p/576p**
  入力されているビデオ信号がコンポジット、Sビデオまたは480i/576iのコンポーネントビデオ信号のときに、480p/576pに変換してHDMIモニターアウト端子に出力します。
- **1080i**
  入力されているビデオ信号がコンポジット、Sビデオまたは480i/576i/480p/576pのコンポーネントビデオ信号のときに、1080iに変換してHDMIモニターアウト端子に出力します。
- **720p**
  入力されているビデオ信号がコンポジット、Sビデオまたは480i/576i/480p/576pのコンポーネントビデオ信号のときに、720pに変換してHDMIモニターアウト端子に出力します。
- **1080p**
  入力されたビデオ信号を1080pの解像度に変換してHDMIモニターアウト端子に出力します。
- **Through**
  入力されているビデオ信号の解像度のままHDMIモニターアウト端子に出力します。

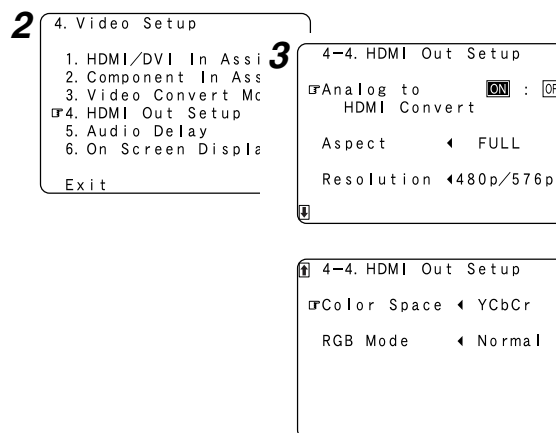
Color Space：

- **Y Cb Cr**
  色差形式の映像信号でHDMIモニターアウト端子から出力します。
- **RGB**
  RGB形式の映像信号でHDMIモニターアウト端子から出力します。

RGB Mode Setup：

- **Normal**
  HDMIのデジタルRGB映像レンジ（データ範囲）を16（黒）～235（白）で出力します。
- **Enhanced**
  HDMIのデジタルRGB映像レンジ（データ範囲）を0（黒）～255（白）で出力します。HDMI接続時にご使用のテレビによっては、黒色が浮くような場合があります。このような場合は本モードをご使用ください。

※“Color Space”が“Y Cb Cr”設定のときは“RGB Mode Setup”は効果がありません。
※アスペクト比の設定は、解像度を1080i、720pまたは1080pに設定した場合に有効です。それ以外の解像度で出力する場合は、テレビ側でアスペクト比の設定をおこなってください。
※解像度を“Through”に設定された場合は、ビデオ、Sビデオおよびコンポーネントからの入力信号と同じ解像度で出力します。オンスクリーンディスプレイは480iの解像度で出力しますので、480iの解像度に対応しているテレビをご使用ください。

4 ENTER を押す。

- “Aspect”、“Resolution”、“Color Space”および“RGB Mode Setup”は“Analog to HDMI Convert”で“ON”を選んだ場合に設定できます。
- HDMI/DVI-D変換ケーブルを使用してDVI-D端子付きモニター（HDCP対応）と接続する場合は、“Color Space”を“Y Cb Cr”、“RGB”のどちらに設定しても、RGB形式で出力します。
- HDMI出力でシステムセットアップのオンスクリーンディスプレイをご覧になる場合は、“Analog to HDMI Convert”を“ON”（初期値）に設定してください。

《システムセットアップ》

ネットワークに関する設定

- ブロードバンドルータ（DHCP機能）をお使いの方は、本機の初期設定でDHCP機能が“ON”になっていますので、“IP Address”と“Proxy”の設定は必要ありません。
- DHCP機能のないネットワークに本機を接続してお使いになるときには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。この場合、ネットワークに関する知識が必要となります。

IP Address（IPアドレス）の設定

DHCP機能を“OFF”にしたときに設定します。

1 △▽で“Option Setup”メニューから“Network Setup”を選び、ENTER を押す。

2 △▽で“IP Address”を選び、ENTER を押す。

3 ◁▷で“OFF”を選ぶ。

- DHCP機能を無効にします。

4 △▽で設定する項目を選び、▷△▽でアドレスを入力する。

IP Address：

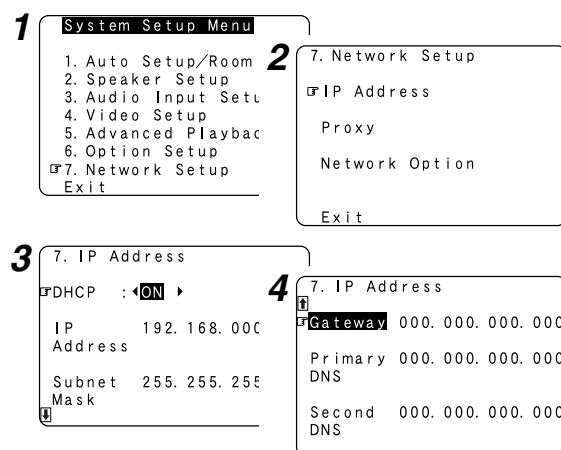
入力するIPアドレスは下記の範囲内で設定してください。下記以外のIPアドレスではネットオーディオ機能を使用することができません。
CLASS A: 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
CLASS B: 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
CLASS C: 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

Subnet Mask：

xDSLモデムやターミナルアダプタを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は、255.255.255.0が入ります。

Gateway：
ゲートウェイ（ルータ）に接続している場合は、そのIPアドレスを入力します。

Primary / Secondary DNS：
プロバイダから書面などで通知されたDNSアドレスが1つの場合は、“ Primary　DNS ” に入力してください。2つ以上の場合は、1つを “ Second DNS ” に入力してください。

5 **ENTER を押す。**

- DHCP（ダイナミック ホスト コンフィグレーション プロトコル）：
  本機やパソコン、ブロードバンドルータのようなネットワーク機器に、自動的にIPアドレスなどのネットワーク設定をおこなう仕組みのこと。
- DNS（ドメインネームシステム）：
  ホームページの閲覧時に使用する「www.denon.jp」のようなドメイン名を、実際の通信に使用するIPアドレス（「202.221.192.106」など）に置き換える仕組みのこと。

Proxy（プロキシ）の設定

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続するときに設定します。

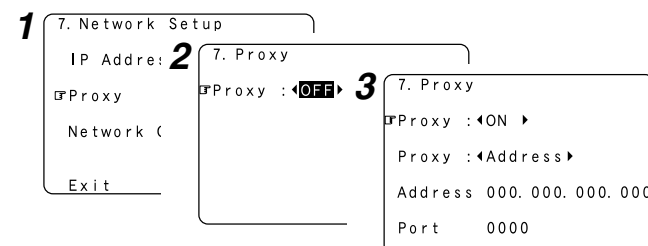
1 **△ ▽ で“ Network Setup ”メニューから“ Proxy ” を選び、ENTER を押す。**

2 **◁ ▷ で “ ON ” を選ぶ。**
- プロキシサーバーを有効にします。

3 **△ ▽ で設定する項目を選び、▷ △ ▽ で文字または数字を入力する。**

Proxy：
プロキシサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力します。

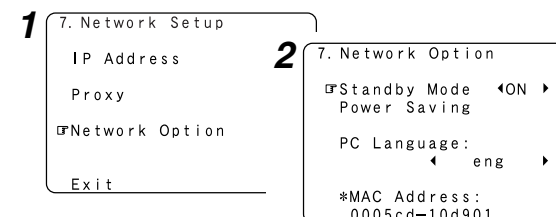
Port：
プロキシサーバーのポート番号を入力します。

4 **ENTER を押す。**

その他のネットワークの設定

❑ Power Savingの設定

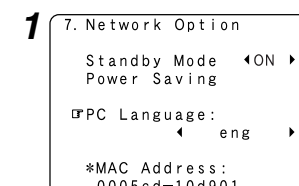
- ネットワークに接続してお使いにならない場合は、“ ON ” にしてください。スタンバイモード時の消費電力をおさえることができます。
- ネットワークに接続してお使いになる場合は、“ OFF ” にしてください。

1 **△　▽　で “ Network　Setup ” メニューから “ Network Option ” を選び、ENTER を押す。**

2 **◁ ▷ で “ OFF ” を選び、ENTER を押す。**

❑ PC Languageの設定

ご使用になるパソコンの言語に合わせて選びます。
言語はISO639-2に準拠したアルファベット3文字にて表示します。

1 **△ ▽ で “ PC Language ” を選び、◁ ▷ でパソコンの言語を選ぶ。**

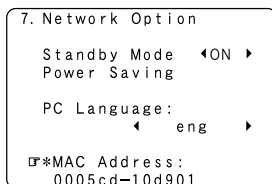
2 **ENTER を押す。**

❑ MAC Addressの表示

本機のMACアドレスを表示します。
MAC アドレスは機器ごとに異なります。

```
7. Network Option

  Standby Mode   ◀ON ▶
  Power Saving

  PC Language:
          ◀   eng    ▶

 ☞*MAC Address:
   0005cd-10d901
```

ネットワークオーディオの使いかた

本機はLANケーブルでネットワーク接続をすると、インターネットラジオを楽しんだり、パソコンに保存した音楽ファイルを楽しむことができます。

インターネットラジオ機能について

インターネットラジオとは、インターネットを通じて配信しているラジオのことを言います。
世界中には、インターネットラジオ放送をおこなっている放送局が多数存在します。放送局といっても、個人が運営するものから、地上波の放送局が運営するものなど、大小さまざまなものが存在します。
地上波のラジオは、電波の届く範囲で放送を聴くことができますが、インターネットラジオは世界中の放送を聴くことができます。
本機には、次のインターネットラジオ機能があります。

- ジャンル別、地域別に選択が可能です。
- 56局のインターネットラジオ局をプリセットできます。
- MP3フォーマットのインターネットラジオが聴けます。
- パソコン上のWebブラウザからDENON専用のインターネットラジオ用URLにアクセスすると、お気に入りのラジオ局を登録することができます。(本体への登録は、AVアンプが自動的にダウンロードします（約1日おき))。(お客様の機器ごとの管理をしますので、MACアドレス、E-mailアドレスの登録が必要です。)

  ※ 専用URL： http://www.radiodenon.com
  （インターネットラジオに接続した後でアクセスすることができます。）

vTunerについて

本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス（vTuner）を利用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集/作成されたリストです。

ミュージックサーバー機能について

本機は、ネットワークオーディオ再生機能があり、パソコンに保存した音楽ファイルをLAN（ローカルエリアネットワーク）を経由して、再生することができます。
本機のネットワークオーディオ再生機能は、次の技術を利用してサーバーに接続できます。

- Windows Media Connect
- The Designed to DLNA Guideline
- Windows Media DRM10

必要なシステム

インターネットラジオやミュージックサーバーを使用するには、次の準備が必要です。

ブロードバンド回線によるインターネット接続

本機のインターネットラジオ機能を利用するには、ブロードバンド回線によるインターネットへの接続が必要です。

ご注意

インターネットに接続するには、ISP（インターネット･サービスプロバイダ）と契約する必要があります。
インターネットの接続については、ISPまたはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
すでに、ブロードバンド回線を利用してインターネット接続をされている方は、新たに契約する必要はありません。

モデム

ブロードバンド回線と接続してインターネットに通信をおこなうための機器です。ルータと一体型のものもあります。
インターネットの接続については、ISPまたはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

ルータ

パソコンなどの機器および本機など、複数の機器を同時にインターネットへ接続するための機器です。
本機を利用するにあたって、以下の機能が装備されているルータをおすすめします。

- DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーを内蔵していること。
  LAN上の機器のIPアドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TXスイッチ内蔵
  複数の機器を接続するために、100Mbps以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。

ご注意

ルータは、ISP業者によって使用できるルータの種類が異なりますので、詳しくはISP業者、またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

イーサネットケーブル（CAT-5）

- 本機にはイーサネットケーブルは付属していません。必要な長さのケーブルを準備してください。
- 電気製品の電源ノイズが多い環境やノイズが多いネットワーク環境で音が途切れたりする場合は、シールドタイプのイーサネットケーブルをご使用ください。改善できる場合があります。

パーソナルコンピューター

「Windows Media Connect」をパーソナルコンピュータにインストールします。
ミュージックサーバーを構成するために必要なシステムは、以下の通りです。

1）OS：
　Windows® XP Service pack2
2）プロセッサ：
　Intel PentiumⅡまたはAMDプロセッサなど
　推奨1GHz以上
3）RAM：
　最小128MB。推奨256MB以上。
4）ソフトウェア：
　.NET Framework 1.1
5）インターネット ブラウザ：
　Microsoft Internet Explorer 5.01 以上

- LANポートがあること
- 300MB以上のハードディスク空き容量

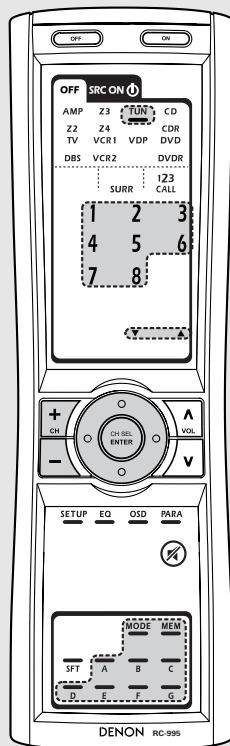
※ 音楽ファイルを保存する場合、別途、空き容量が必要になります。
下記が容量のおおよその目安です。

フォーマット	ビットレート	1分当たり	1時間当たり
MP3/WMA	128kbps	約1MB	約60MB
	192kbps	約1.5MB	約90MB
	256kbps	約2MB	約120MB
	392kbps	約3MB	約180MB
WAV (LPCM)	1400kbps	約10MB	約600MB

その他

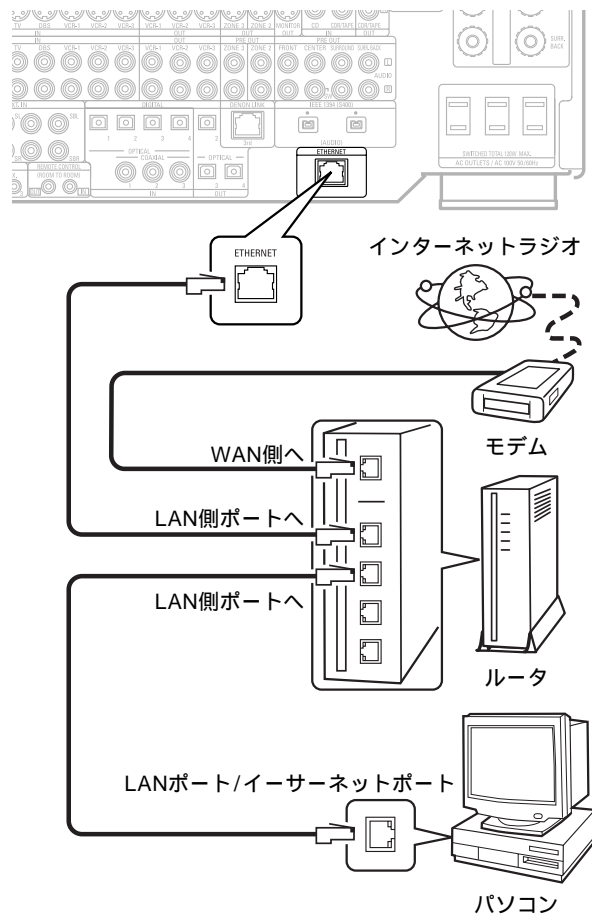
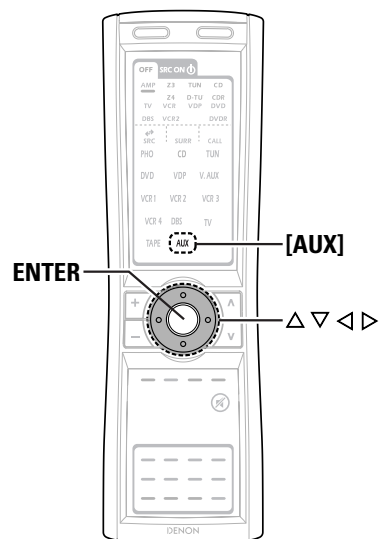
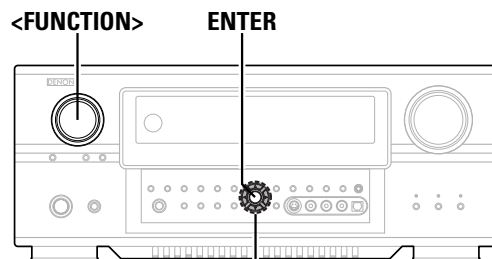
- ネットワーク設定を手動でおこなうタイプの回線契約でプロバイダ契約を結んでいる場合、「ネットワークに関する設定」（☞ 6、7ページ）をする必要があります。
- 本機はPPPoEに対応しておりません。PPPoEで設定するタイプの回線契約を結んでいる場合、PPPoE対応のルータが必要です。
- 契約しているISP（インターネットサービスプロバイダ）によっては、インターネットラジオを利用する場合にプロキシサーバーの設定が必要な場合があります。パソコンでインターネットに接続するときにプロキシサーバーの設定をした場合は、本機も同様に設定してください。
- 本機はDHCP機能やAuto IP機能を使用し、ネットワーク設定を自動的におこなうように設計されています。
- ブロードバンドルータ（DHCP機能）をお使いの方は、本機が自動的にネットワークの設定をしますので、ネットワークに関する設定は必要ありません。
  DHCP機能のないネットワークに本機を接続してお使いになるときには、「ネットワークに関する設定」（☞ 6、7ページ）をおこなう必要があります。

チューナーのシステムボタン

ネットワークオーディオの操作には、下図のチューナーのシステムボタンを使用します。

▲, ▼	：文字検索
MODE	：コンフィグレーションモードの選択
MEM	：プリセットおよびお気に入りの登録
CH +, –	：プリセットチャンネルの切り替え
A~G	：プリセットメモリーブロック
1~8	：プリセット番号
▲, ▼, ◄, ►	：カーソル上/下/左/右
ENTER	：設定の確定

《ネットワークオーディオの使いかた》

接続のしかた

イーサーネットケーブル（CAT-5）の一方を本機背面のETHERNET端子に差し込み、もう一方をルータに差し込みます。

【操作説明のボタン名について】

<　　>：本体のボタン
[　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

インターネットラジオを聴く

インターネットラジオを聴くには、必要なシステムとの接続および設定が必要です。
また、インターネットラジオに初めて接続した場合には、ディスプレイに“ Update? ”を表示します。

1 <FUNCTION> で“ NetAudio ”を選ぶか、[AUX]（AMPモード）を押す。

2 △▽で“ Internet Radio ”を選び、ENTER を押す。

3 インターネットラジオに初めて接続したとき：ENTER または ▷ を押す。

4 もう一度、ENTER または ▷ を押す。

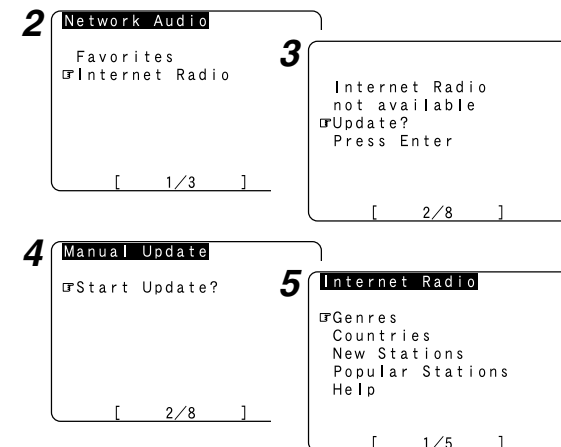
● vTunerのホームページから最新のラジオステーションリストをダウンロードします。（このダウンロードには数分かかります。）

5 △▽で項目を選び、ENTER または ▷ を押す。

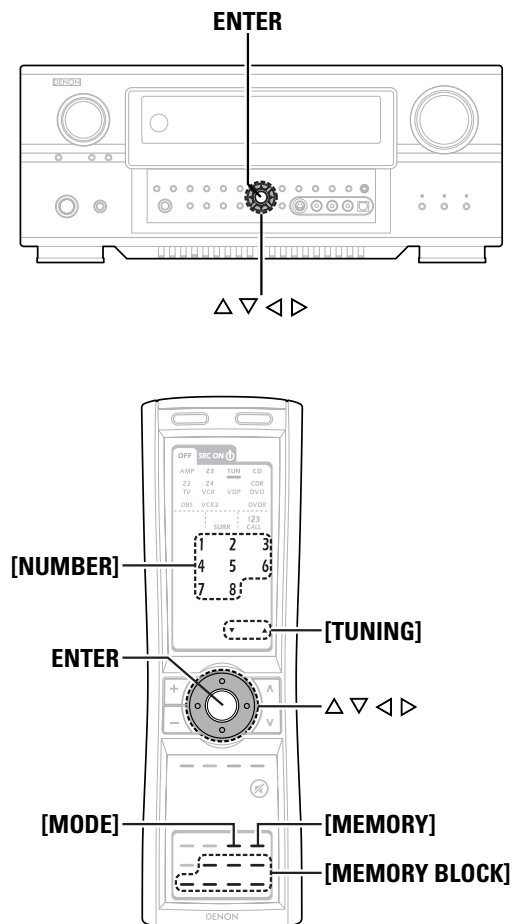
※ 最後にステーションリストを表示します。
再生可能な放送局には、先頭に＊マークを付けます。

6 △▽で放送局を選び、ENTER または ▷ を押す。

● 放送局に接続し、バッファリングが“ 100% ”表示になると再生をはじめます。

※ 再生中に **ENTER** を押すと、一時停止します。もう一度 **ENTER** を押すと、再生を再開します。
※ 再生中または一時停止中に **ENTER** ボタンを2秒以上押し続けると、再生を停止して一つ前のメニュー画面に戻ります。

● インターネット上には数多くのインターネットラジオ局があり、各ラジオ局から配信される放送や楽曲のビットレートには高低様々なものがあります。
一般に、ビットレートが高ければ高いほど高音質になりますが、通信回線やサーバーの混雑具合によってはストリーミングしている音楽や音声が途切れやすくなります。
逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、途切れにくくなります。

● 放送局が混雑している場合や放送されていない場合は、“ Server Full ”または“ Connection Down ”を表示します。

● ネットワークオーディオ（インターネットラジオまたはミュージックサーバー）を再生しているときにオンスクリーンディスプレイを表示させない場合は、「オンスクリーンディスプレイ（OSD）の設定」（本体に付属の取扱説明書の83、84ページ）で“ Function/Mode Status ”を“ OFF ”に設定してください。

【操作説明のボタン名について】
< >： 本体のボタン
[ ]： リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

インターネットラジオ局をプリセット（登録）する

登録には、「プリセット」と「お気に入り」の2種類の方法があります。
プリセットに登録すると、リモコンでダイレクトに選局できます。

1 登録したいインターネットラジオ局を再生中に［MEMORY］を押す。

2 △ ▽ で“ Preset ”を選び、ENTER または ▷ を押す。

3 ［MEMORY BLOCK］（A～G）を押した後に［NUMBER］（1～8）でお好みのプリセットチャンネルに登録する。

※ 約10秒間ボタン操作がおこなわれない場合、通常表示に戻ります。
※ 登録したプリセット内容は、オンスクリーンディスプレイで確認できます。
プリセット内容の確認は、“ NetAudio ” ファンクションを選んでいるときのみオンスクリーンディスプレイに表示します。

2
Favorites/Preset
Favorites
☞Preset

ご注意
プリセットに登録された内容は、上書きをして消去します。

プリセットしたインターネットラジオ局を聴く

“ NetAudio ” ファンクションを選んでいるときに、［MEMORY BLOCK］（A～G）を押してから［NUMBER］（1～8）を押す。

● 自動的にインターネットラジオ局に接続して、再生をはじめます。

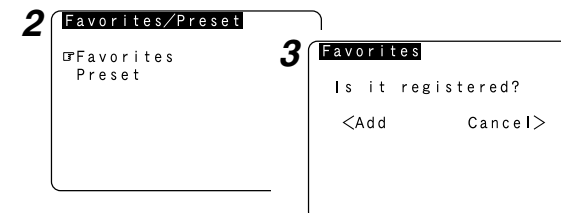
インターネットラジオ局をお気に入りに登録する

お気に入りは、メニュー画面の先頭にリストアップされますので、登録すると選局が容易にできます。

1 登録したいインターネットラジオ局を再生中に［MEMORY］を押す。

2 △ ▽ で“ Favorites ”を選び、ENTER または ▷ を押す。

3 ◁ で登録する。

※ 登録しない場合は、▷ を押してください。

お気に入りに登録したインターネットラジオ局を聴く

1 “ NetAudio ” ファンクションを選んでいるときに△ ▽ で “ Favorites ” を選び、ENTER または ▷ を押す。

- お気に入りに登録したインターネットラジオ局を表示します。

2 △ ▽ でお好みのインターネットラジオ局を選び、ENTER または ▷ を押す。

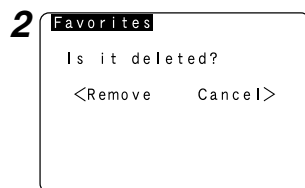
- 再生をはじめます。

お気に入りに登録したインターネットラジオ局を削除する

1 「お気に入りに登録したインターネットラジオ局を聴く」の操作2の画面で、 △ ▽ を押して削除したいインターネットラジオ局を選び、[MEMORY] を押す。

2 ◁ で削除する。

※ 削除を取り消す場合は、▷ を押してください。

2
```
Favorites
 Is it deleted?
 <Remove    Cancel>
```

キャラクターサーチ（頭文字で検索する）

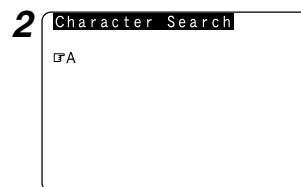
インターネットラジオ局およびパソコンに保存された音楽ファイルのメニュー画面の項目の中から、目的の項目を選ぶときにキャラクターサーチ（頭文字による検索）ができます。

1 メニュー画面が表示されているときに、[TUNING] を押す。

2 [TUNING] で検索したい項目の頭文字を選ぶ。

- 数秒後、メニュー画面を表示します。

※ 操作2で選んだ文字からはじまる項目が複数ある場合は、アルファベット順にカーソルを表示します。

2
```
Character Search
☞A
```


ラジオステーションリストのアップデイトのしかた

1 [MODE] でコンフィグレーションモードを選び、ENTER または ▷ を押す。

2 △ ▽ で “ Automatic Update ” または “ Manual Update ” を選び、ENTER または ▷ を押す。

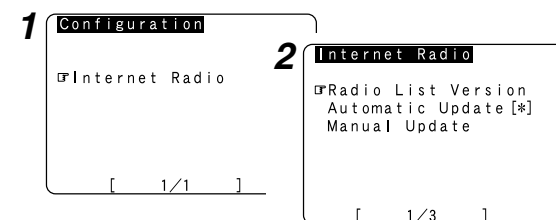
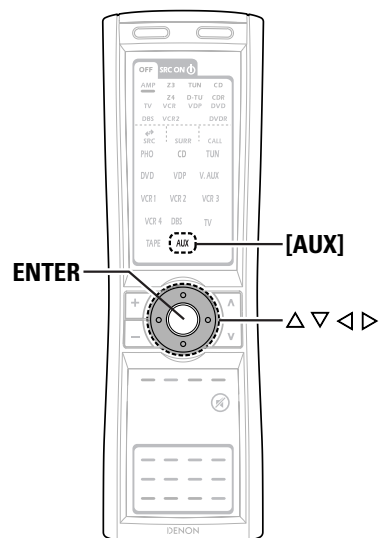
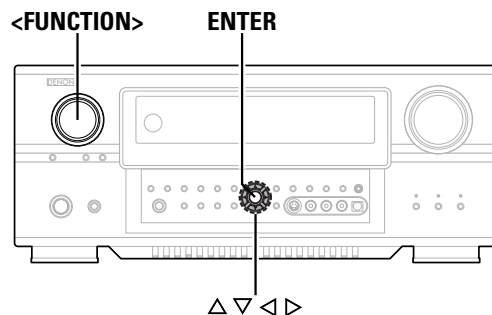
※ “ Radio List Version ” を選んだ場合は、現在のバージョンを表示します。

3-1 “ Automatic Update ” 選んだとき：ENTER または ▷ で “ Yes ” を選ぶ。

- ラジオステーションリストが約1日おきに自動的にアップデイトします。

3-2 “ Manual Update ” 選んだとき：ENTER または ▷ を押す。

- 今回のみラジオステーションリストをアップデイトします。

4 [MODE] を押す。

- “ Automatic Update ” を “ Yes ” に設定する場合は、「ネットワークに関する設定」の “ Power Saving ”（☞ 7ページ）を “ OFF ” に設定してください。
  “ Power Saving ” を “ ON ” にして使用する場合には、定期的（1週間に1回程度）に “ Manual Update ” を実施することをおすすめします。

【操作説明のボタン名について】

<　　>：　本体のボタン
[　　]：　リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

パソコン（ミュージックサーバー）に保存された音楽ファイルを再生する

音楽ファイルの再生には、必要なシステムとの接続および設定が必要です。
ネットワークを経由して本機と接続されたパソコン（ミュージックサーバー）に保存された音楽ファイル（WMA、MP3、WAV）またはプレイリスト（m3u、wpl）を再生します。
あらかじめパソコンのサーバーソフトを起動し、ファイルをサーバーコンテンツとして設定しておく必要があります。詳しくは、サーバーソフトの取扱説明書をご参照ください。

1 <FUNCTION> で“ NetAudio ”を選ぶか、[AUX]（AMPモード）を押す。

2 △ ▽ で再生したい音楽ファイルのあるパソコン（ミュージックサーバー）のホスト名を選び、ENTER または ▷ を押す。

3 △ ▽ で検索項目またはお好みのフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。

※ 再生可能な音楽ファイルには、先頭に＊マークを付けます。

4 △ ▽ で音楽ファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。

- 接続を開始し、バッファリングが“ 100% ”表示になると再生をはじめます。

※ 次の曲を選ぶときは ▽ を、前の曲を選ぶときは △ を押してください。
※ 再生中に **ENTER** を押すと、一時停止します。もう一度 **ENTER** を押すと、再生を再開します。
※ 再生中または一時停止中に **ENTER** を2秒以上押し続けると、再生を停止して一つ前のメニュー画面に戻ります。

2

```
Network Audio

 Favorites
☞Internet Radio



      [    1/3    ]
```

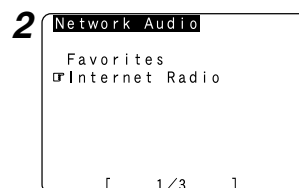
プリセットおよびお気に入りに登録して再生する

音楽ファイルについてもインターネットラジオと同様の操作をおこなうことで、プリセットおよびお気に入りに登録して再生することができます。

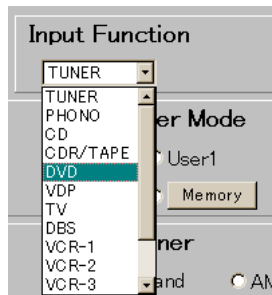
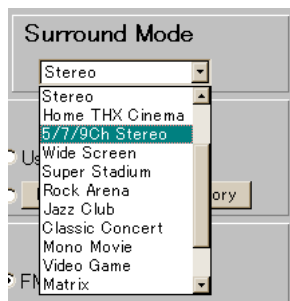
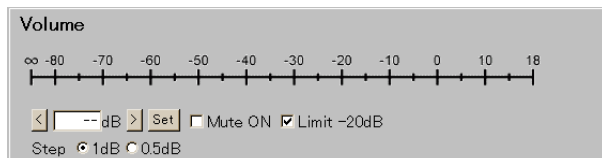
ご注意

- プリセットに登録した内容は、上書きをして消去します。
- 下記の操作をおこなうとミュージックサーバーのデータベースが更新され、プリセットまたはお気に入りに登録した音楽ファイルが再生できなくなる場合があります。
  - ・ミュージックサーバーを停止、再起動した場合
  - ・ミュージックサーバーで音楽ファイルを削除または追加した場合

ブラウザを使用して本機を操作する（ウェブコントロール）

ネットワークを経由して本機と接続されたパソコンのインターネットエクスプローラを使用して、本機を操作することができます。
あらかじめ本機のIPアドレスの確認（☞ 6、7ページ）をおこない、インターネットエクスプローラのアドレスに本機のIPアドレスを入力すると、本機の操作画面が表示されます。
通常のインターネットブラウジングと同様に操作することで、本機を操作することができます。

ウェブコントロールの操作画面例

セットアップ項目の設定内容については、通常の操作と同様ですので、システムセットアップ（本体に付属の取扱説明書の36〜103ページ）を参照してください。

【ファンクションの選択画面】

【サラウンドモードの選択画面】

【音量制御画面】

ご注意

この機能を使用するときは、“Network Setup”－“Network Option”－“Power Saving”を“OFF”に設定してください（☞ 7ページ）。

その他について

Windows Media Connectについて

マイクロソフト社が2004年10月から無料で提供しているメディアサーバです。
どのような音楽ジュークボックスでも動作しますが、Windowsメディアプレーヤー Ver.10に最適化されています。Windowsメディアプレーヤー Ver.10のようなジュークボックスソフトウェアで作成されたプレイリストやWMA、DRM WMA、MP3、WAVファイルなどが再生できます。

Windows Media Connectをインストールするための説明

1.Windows XPサービスパック2のインストールが終了していない場合は、マイクロソフト社から無料のダウンロードをおこなうか、Windowsアップデイトインストーラーを経由しておこないます。
2.マイクロソフト社から直接、またはWindowsアップデイトインストーラーを使用して、Windowsメディアプレーヤー Ver.10の最新版をダウンロードします。
3.2004年10月12日から使用可能になったWindows Media Connectをマイクロソフト社から直接またはWindowsアップデイトインストーラーを使用してダウンロードします。

vTunerについて

インターネットラジオの有料オンラインコンテンツサービスです。但し、利用料についてはアップグレード費用に含まれています。
本サービスに関するお問合せは、下記vTunerのサイトまでお願い致します。
vTuner Webサイト: http://www.radiodenon.com

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCoの知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

Windows Media DRMについて

マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。

- PlaysForSureロゴ、Windows Media、Windowsロゴは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。
- コンテンツプロバイダーは、自らのコンテンツ（“セキュアコンテンツ”）の完全性を保護するために、本デバイス（“WM-DRM”）に内蔵されたWindows Media用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権（著作権を含む）が悪用されないようにしています。本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WM-DRMソフトウェア（“WM-DRMソフトウェア”）を使用しています。本デバイス内のWM-DRMソフトウェアのセキュリティがあやうくなった場合、セキュアコンテンツの所有者（“セキュアコンテンツオーナー”）は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得るWM-DRMソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生するWM-DRMソフトウェアの能力には影響がありません。インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはいつも、取り消されたWM-DRMソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消されたWM-DRMソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードすることができます。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　00D 511 4537 008